

オンライン音楽講義のご案内

学問としての音楽

～芸術家たちが見つめていたもの～

イデア・ミュージック・アカデミー/東海教室主任

日野 あゆみ

日頃は当アカデミーにあたたかなご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

1月19日に開催しました、中西学院長による【第8回オンライン音楽講義】無事終了いたしました。西洋音楽の発展はキリスト教の祈りの儀式であるミサとともにありました。第8回目は様々な作曲家のCDを聴き比べながら、時代の流れの中でミサ曲がどのような変化を遂げてきたのか、大変深く学ぶことができました。ご参加くださった方々、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

次回は、第9回【芸術の変遷と時代背景⇒何故ハーモニーは崩壊したのか（絵画、文学に触れながら）】を下記の内容で開催いたします。全回の講義内容につきましては、別紙をご覧ください。なお、講義内容の順序は変更になる可能性がございます。あらかじめご了承ください。

記

1. 日時	第9回：2023年2月16日（木）午前10時30分～ 時間配分：講義1時間程度、ディスカッション 15分程度。 ※ディスカッションはアーカイブ配信いたしません。 ※10回目以降の日時につきましては随時ホームページに掲載させていただきます。
2. 受講料	料金は一律 2,000円/1回 (現在、1ヶ月に1回のペースで、全12回を予定)
3. オンラインツール	Zoom
4. お申し込み・お問い合わせ	E-mail：idea.music.academy@gmail.com 氏名・メールアドレス・受講希望をご記載の上ご連絡をお願い申し上げます。 ご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せ下さい。
5. 振込先	お申し込みいただいた後に、メールにてお伝えいたします。
6. 期日	・第9回 Zoom 申込締め切り 2月15日（水） ・第9回 アーカイブ 申込締め切り 第10回開催前日まで
7. アーカイブ配信	講義受講者及びアーカイブのみ申込者対象にYouTube限定公開

以上

学問としての音楽

～芸術家たちが見つめていたもの～

イデア・ミュージック・アカデミー/学院長

中西 誠

1. バッハの目線に立って⇒
 - I：プラトンのイデア論（インヴェンションを通じて）
 - II：ピタゴラスの弦の分割論（平均律を通じて）
 - III：楽譜に隠された秘儀と象徴（マタイ受難曲を通じて）
2. 汚い音楽を書いたモーツァルト⇒モーツァルトに起きた作曲の危機（バッハとの比較）
3. ベートーヴェンが求めたもの⇒
 - I：ベートーヴェンの勉強部屋 ～師ネーフェからの教え～
 - II：交響曲第五番vs交響曲第六番
 - III：ベートーヴェンからの問いかけ
～シラー、カント、ヘルダーリン、ハイデガー、アドルノと交響曲第九番～
4. ミサについて⇒西洋音楽の本質中の本質であるミサについて（バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、ブラームス、フォーレの宗教曲）そして聖書
5. 芸術の変遷と時代背景⇒何故ハーモニーは崩壊したのか（絵画、文学に触れながら）
6. 文学と美術における象徴⇒シェイクスピアと絵画、ゴッホと文学（おいおい、逆やろ）
7. 実際の演奏とレッスンへの考察⇒世阿弥の無心への挑戦に学ぶ
8. 理想的な音楽教育を目指して～ネイガウスに倣って～⇒皆様と意見交換をしながら